

令和〇〇年度 農山漁村振興交付金(【※1】)
事業実施主体 評価一覧

●【※2】

【令和〇年度採択】

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								総合的評価	取組状況	事業実績		実施体制	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			目標	その他		
〇〇	〇県	〇市	〇〇協議会														

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ソフト事業 〇…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
ハード事業 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告済)

(注2) 「総合的評価、取組状況、事業実績、実施体制」の区分:A、B、C、評価対象外 (事業実績の内訳については、a、b、c、ー)

(注3) 【※1】及び【※2】には、別表に記載の内容からそれぞれ該当するものを転記すること。

別紙様式第 1 号（別表）

事業名	
【※ 1】	【※ 2】
地域活性化型	活動計画策定事業
	農山漁村関わり創出事業
農泊推進型	農泊推進事業、人材活用事業、整備事業 （市町村・中核法人実施型）、整備事業 （農家民泊経営者等実施型）
農福連携型	農福連携推進支援事業、整備事業（農福 連携型）
都市農業機能発揮対策	都市農業共生推進等地域支援事業

(事業期間) R〇～R〇	〇〇〇協議会 (〇〇県〇〇郡〇〇町)	(※2) 事業名を 記入	(全体のポイント) (事業の全体的な内容のポイントを簡潔に記入)	事務局名を 記入
(目標年度) R〇				

総合的評価

事業実施 主体名	事業実施 年度	事業実施段階								総合的評価	取組 状況	事業実績		実施 体制
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			(※3) 目標	(※4) その他	
〇〇協議会														

評価コメント

【「事業実施段階」の凡例】
・ソフト事業 ○・・・交付対象年度（計画） ●・・・交付対象年度（実施済）
□・・・目標年度（計画） ■・・・目標年度（実施済）
・ハード事業 ☆・・・交付対象年度（計画） ★・・・交付対象年度（実施済）
◇・・・目標年度（計画） ◆・・・目標年度（実施済）
・重点指導 ▼・・・重点指導（通知済） △・・・重点指導（結果報告予定）
▲・・・重点指導（結果報告済）

【総合的評価、「取組状況、事業実績、実施体制」の区分】
A、B、C、評価対象外 （事業実績の内訳については、a、b、c、－）

①取組状況：評価●

(評価理由)

・△△事業

計画					実績		判定 (a, b, cを記入)
番号	取組内容	実施予定数		主要な取組 (○を記入)	実施数	実施率 (%)	
		数量	単位				

②事業実績：評価●

(評価理由)

目標	事業実施 年度	R〇 (現状)	R〇		R〇		R〇			
			目標値	実績値 (達成率) (評価)	目標値	実績値 (達成率) (評価)	目標値	実績値 (達成率) (評価)		
(※3) 目標 (単位：〇〇)				(%) ()			(%) ()			(%) ()
(※4) その他の指標 (単位：〇〇)				(%) ()			(%) ()			(%) ()

〇〇〇協議会
(例) 令和4年度設立予定

事務局

〇〇〇〇〇
(事務処理、会計、企画、プログラム開発・運営)

〇〇〇〇〇
(農作業指導・補助)

〇〇〇〇〇
(ネットワークを活かした人材発掘)

〇〇〇〇〇
(ボランティア団体、ツリーハウスなど森林整備)

〇〇〇〇〇
(施設整備)

別紙様式第2号（別表）

事業名			※3（事業実績の表中の記載） 数値目標	※4（事業実績の表中の記載） 評価指標
※1	※2			
地域活性化型	活動計画策定事業		・都市と農山漁村の人々が交流するための取組に係る数値目標（交流人口等） ・都市住民が農山漁村に定住するための取組に係る数値目標（移住者数等） ・農山漁村で暮らす人々が引き続き住み続けるための取組に係る数値目標（転出者数等）	・目標の実現状況等を評価するための指標
	農山漁村 関わり 創出 事業	農山漁村 体験研修の実施	・研修生が農山漁村での地域活動へ関心を持つことに係る定量的な目標 ・就職氷河期世代の研修生に係る数値目標	・農村体験研修を受けた人数 ・研修の受入地域数
		情報の発信及び共有	・多様な人材に農山漁村を新たな活躍の場として認知してもらえた割合等に関する定量的な目標	・情報発信の効果に係る評価指標として、事業全体の効果を測る定量的な指標
		農村プロデューサー 養成講座の実施	・入門コースの受講人数（全ての回の延べ受講人数）について定量的な目標 ・翌年度中に農山漁村の課題解決に向けた取組を行った実践コース研修生の割合	・講座開催の周知回数等 ・ネットワークを活用し、地域づくりの事例に関する情報発信や有識者との相談会開催の回数等
農泊推進型	農泊推進事業		・売上高[万円] ・延べ宿泊者数[人泊]	・食事メニュー数 ・体験プログラム数
	人材活用事業		・料金単価 [円] ※ ※農泊地域経営強化タイプのみ	
	市町村・中核法人実施型		・売上高[万円] ・延べ宿泊者数[人泊]	
	農家民泊経営者等実施型			
農福連携型	農福連携 支援事業	地域協議 会の設立及 び体制整備	・農福連携の新規取組主体数[主体]	・交流人口[人] ・その他実現しようとする数値目標
		農福連携の 取組	・障害者等の雇用及び就労者数[人] ・当該農園以外での障害者等の雇用者又は就労数[人]※ ※事業内容が「ユニバーサル農園の開設及び運営のみ」である場合	・売上高[円] ・交流人口[人] ・その他実現しようとする数値目標
	整備事業			
都市農業機能発揮対策	都市農業共生推進等地域 支援事業		・各事業実施主体が設定した目標及び評価指標	

●●●第●●号
年 月 日

事業実施主体名
代表者名 殿

事業承認者

【 ※1 】 の事業の改善について

貴団体における【 ※1 】の取組について、低調であることから、【 ※2 】の規定に基づき下記のとおり通知するので、目標達成に向けて改善を図られたい。

(注) 【※1】～【※2】には、別表に記載の内容からそれぞれ該当するものを転記すること。

記

1. 事業名(事業採択年度)
2. 評価委員会での評価コメント
3. 目標達成に向けた指導・助言等

※1	採択年度	※2	備考
事業実施年度及び交付金 名及び事業名		実施要領名及び根拠項目番号	
令和7年度地域活性化型	令和7年度	農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）実施要領（令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知別記1の第4の4	
令和7年度農泊推進型	令和7年度	農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）実施要領（令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知別記4の第9の4	
令和7年度農福連携型	令和7年度	農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）実施要領（令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知別記5の第9の4	
令和7年度都市農業機能 発揮対策	令和7年度	農山漁村振興交付金（都市農業機能発揮対策）実施要領（平成30年3月28日付け29農振第2293号農林水産省農村振興局長通知第15の5	

(別紙様式第4号)

事業実施主体名: _____ ○○協議会

年 月 日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(※1)	取組概要(※1)

(注)※1には、別表に記載の内容から該当するものを転記すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

--

2. 低調と評価された要因

--

3. 目標達成に向けた方策

--

4. 改善状況

--

事業名		
※1		
地域活性化型	活動計画策定事業	
	農山漁村関わり創出事業	農山漁村体験研修の実施
		情報の発信及び共有
		農村プロデューサー養成講座の実施
農泊推進型	農泊推進事業	
	人材活用事業	
	市町村・中核法人実施型	
	農家民泊経営者等実施型	
農福連携型	農福連携支援事業	農福連携の取組
		地域協議会の設立及び体制整備
	整備事業	
都市農業機能発揮対策	都市農業共生推進等地域支援事業	

令和●年度 農山漁村振興交付金【※1】
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和●年度に実施された「農山漁村振興交付金【※1】」の事業について、「農山漁村振興交付金【※2】」の第●の●の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和●年度に交付金事業を実施した●●内の●地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が●地区、良好と認められる地区が●地区、総合的に低調と認められる地区が●地区との評価結果となった。
総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。
また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた●地区について、重点指導の結果を評価した。その結果、来年度も引き続き重点的な指導、助言等を行う地区は●地区であった。

3. 各地区の評価結果

●件(うち●地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

【※2】の第●の●の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:●●(××大学教授)
委員:●●(××大学教授)、●●(××大学非常勤講師)、●●(××大学教授)、●●(××大学客員教授)

【令和●年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日 時 :令和●年●月●日(●) XX:XX~XX:XX 2 場 所 :●● 3 議事概要 ① 令和●年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和●年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和●年度に事業を実施した●地区の、取組概要、評価案及び評価が低調と認められる地区に対する重点指導案に関して説明し、 質疑応答を行った。 また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた●地区の、重点指導結果に関して説明し、質疑応答を行った。 4 主な意見
第2回評価委員会
1 日 時 :令和●年●月●日(●) XX:XX~XX:XX 2 場 所 :●● 3 概 要 ・第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案 令和●年度に事業を実施した●地区の評価案等に関して、了承を得た。 また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた●地区の重点指導結果に関して、了解を得た。 4 主な意見

(注)【※1】及び【※2】には、別表に記載の内容からそれぞれ該当するものを転記すること。

事業名	実施要領名
【※ 1】	【※ 2】
（地域資源活用価値創出対策）のうち地域資源活用価値創出推進事業（地域活性化型）	農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）実施要領（令和 4 年 4 月 1 日付け 3 農振第 2921 号農林水産省農村振興局長通知）別記 1
（地域資源活用価値創出対策）のうち地域資源活用価値創出推進事業（農泊推進型）	農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）実施要領（令和 4 年 4 月 1 日付け 3 農振第 2921 号農林水産省農村振興局長通知）別記 4
（地域資源活用価値創出対策）のうち地域資源活用価値創出整備事業（農泊推進型）	
（地域資源活用価値創出対策）のうち地域資源活用価値創出推進事業（農福連携型）	農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）実施要領（令和 4 年 4 月 1 日付け 3 農振第 2921 号農林水産省農村振興局長通知）別記 5
（地域資源活用価値創出対策）のうち地域資源活用価値創出整備事業（農福連携型）	
都市農業機能発揮対策	農山漁村振興交付金（都市農業機能発揮対策）実施要領（平成 30 年 3 月 28 日付け 29 農振第 2293 号農林水産省農村振興局長通知）